

テーマ「がん検診を受けよう！」

県では、県民の「健康寿命の延伸」及び「健康格差の縮小」を目指し、健康づくりに関する取組を推進しています。健康コラムでは、健康に関する正しい情報と新しい情報を発信し、県民の皆様の健康でいきいきした毎日を応援していきます。

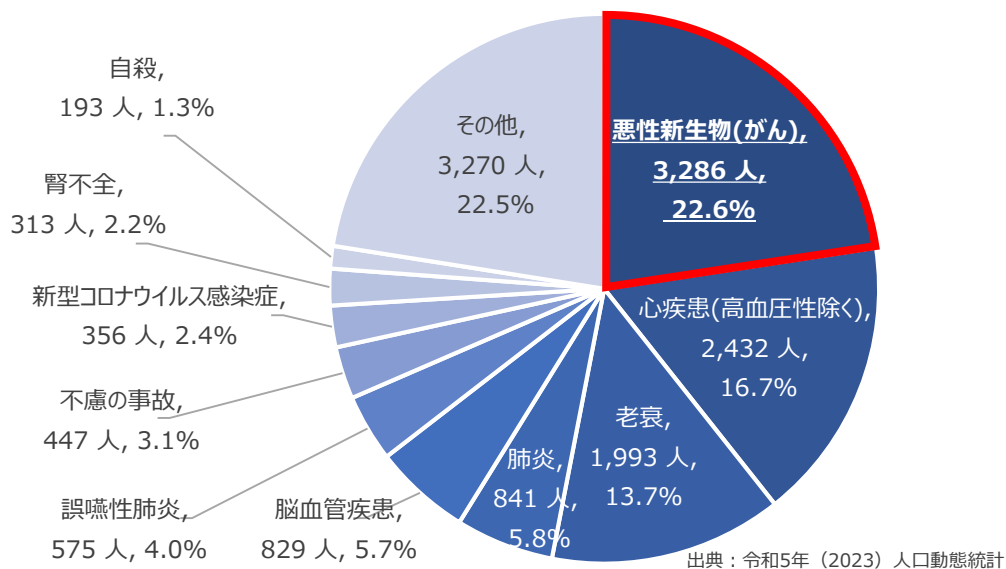
日本人が一生のうちに「がん」になる割合は、男性で3人に2人、女性で2人に1人程度とされています。がんの早期発見のために「がん検診」は有効ですが、和歌山県では全国と比較して受診率が低くなっています。
がんによる死亡を減らすためにもがん検診を受けることをおすすめします！

【参考】第四次和歌山県健康増進計画における数値目標

	2022年（現状）	2035年（目標）
健康寿命の延伸	男性 72.39年 女性 75.33年	男性 75年 女性 78年
特定健康診査実施率（40～74歳）	48.9%	70%以上
食塩摂取量（20歳以上）	9.5g	7g
野菜摂取量（20歳以上）	252.3g	350g
一日の歩数の平均 （20～64歳）	男性 7,690歩 女性 6,771歩	8,000歩
喫煙率の減少	男性 23.7% 女性 6.4%	男性 18.9% 女性 3.5%

和歌山県のがんの現状

～和歌山県の死因別死亡者数～



死因の第1位はがんで、
和歌山県では約4人に1人が
がんで死亡しています。

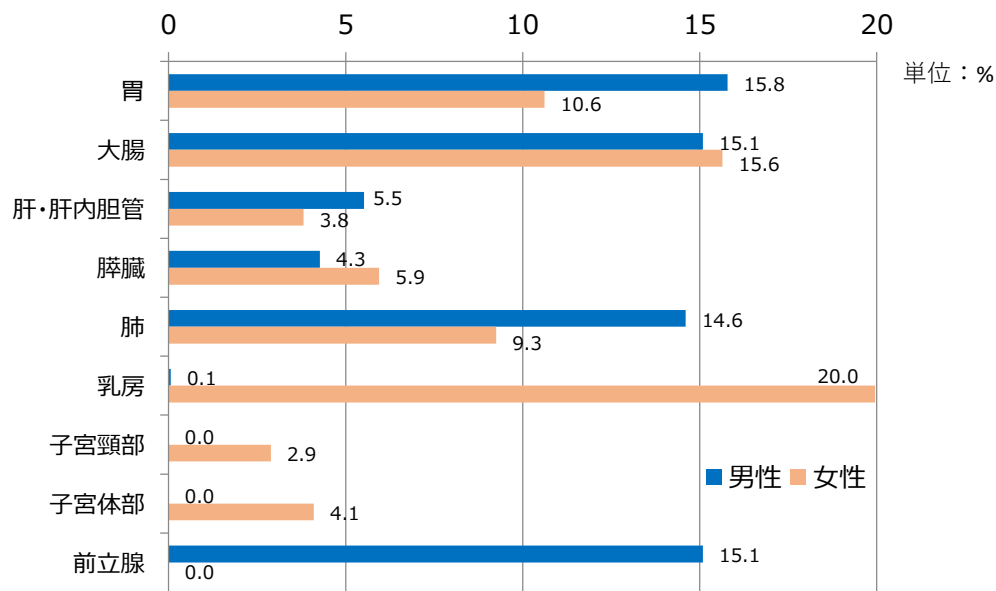
～和歌山県の男女別・部位別がんの罹患割合～

【男性】

1位：胃 15.8% (746人)
2位：前立腺 15.1% (713人)
大腸 15.1% (713人)

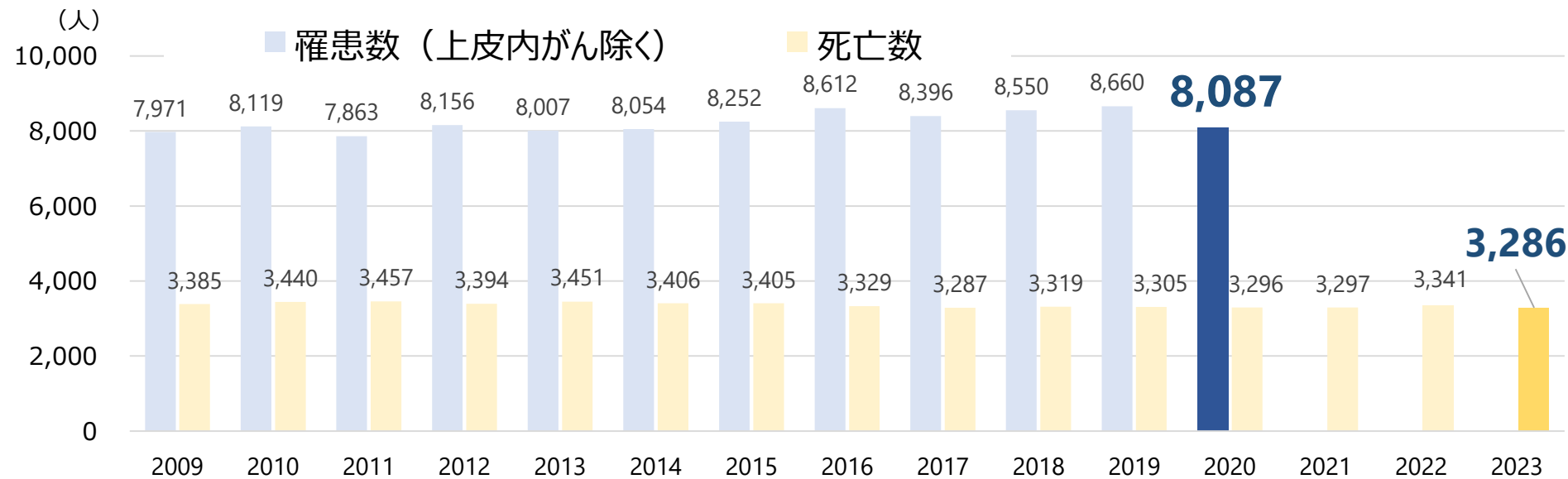
【女性】

1位：乳房 20.0% (671人)
2位：大腸 15.6% (526人)
3位：胃 10.6% (357人)

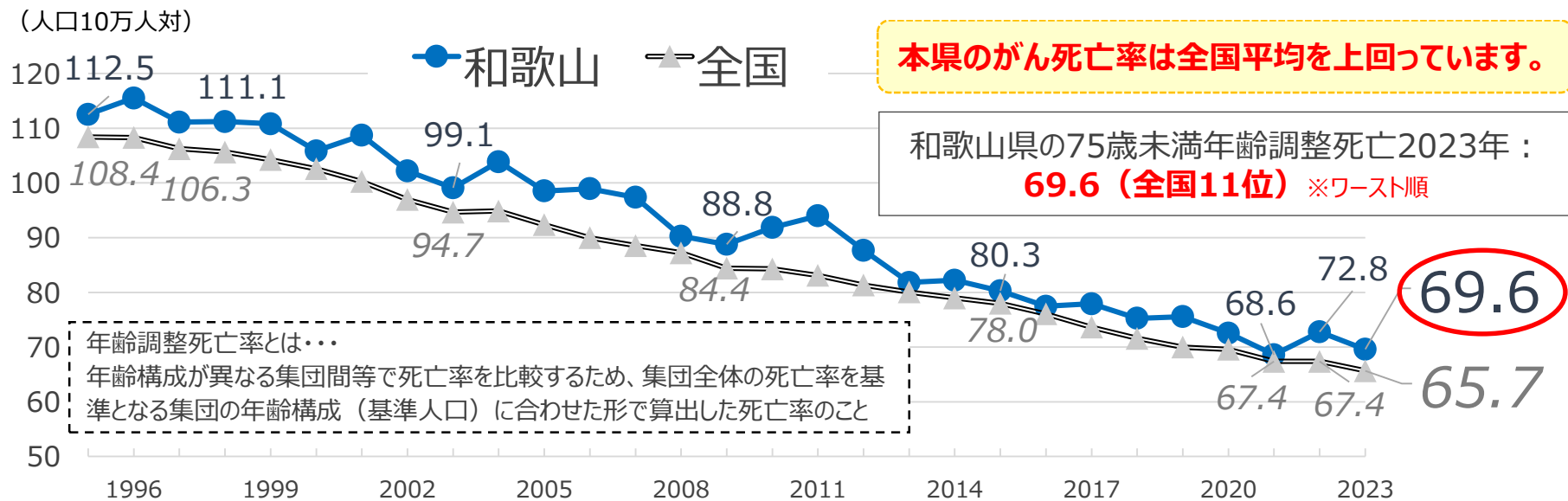


※上皮内がんを除き、主要部位のみ掲載（出典：2020（令和2）年全国がん登録 罹患数・率 報告）

～がんの罹患者数と死亡者数～



～がんの75歳未満年齢調整死亡率の推移～



がん検診の種類

検診種別	検査方法	対象年齢	受診間隔
 胃がん	バリウム検査、内視鏡検査	50歳以上	2年に1回
 肺がん	胸部レントゲン検査	40歳以上	毎年
 大腸がん	便潜血検査	40歳以上	毎年
 子宮頸がん	細胞診	20歳以上	2年に1回
 乳がん	マンモグラフィ	40歳以上	2年に1回

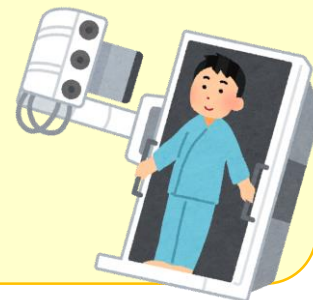
※これらの検査方法等は国（厚生労働省）が推奨するものであり、死亡率減少効果のエビデンスがあります。

早期に発見されたがんは、治る確率が高いと言われています。

しかし、**早期のがんは痛み等の自覚症状がない**ため、体調は万全だと思っ
てもがんが潜んでいる可能性があります。

がんを早期に発見するためには…

- ・ **症状がないうちに定期的ながん検診を受けることが大切です。**
- ・ **ご自分だけでなく、対象となるご家族や周囲の方にもがん検診の受診を勧めてください。**



がん検診を受ける際のポイント

- がん検診を受診した結果、**「要精密検査（がんの疑いがある）」と判定された場合は、必ず病院で精密検査を受けてください。**
- がんを疑う症状がある方は、がん検診ではなく、すぐに医療機関を受診してください。**
- 職場等での検診を受ける機会がない方は、**お住まいの市町村が実施するがん検診を受診することができます。**
- 検診を受ける際には、次のことを理解した上で受けるようにしてください。

メリット

- 早期発見・早期治療により命を守ることができます。
- 早期のがんを発見できます。
- がん以外の病気も見つけることができ、治療に結びつけることができます。
- 「異常なし」が確認できて安心して生活を送ることができます。

デメリット

- がん検診でがんが100%見つかるわけではありません。
- 結果的に不必要な治療や検査を受けてしまうことになる可能性もあります。
- 検査によって身体に負担がかかってしまうことがあります。

がん検診には**メリット**だけではなく、**デメリット**もあります。
それでも命を守るためには、がん検診を受けることが大変重要です。

